

一般社団法人 日本呼吸療法医学会
第 48 期（2025 年度）第 4 回理事会 議事録

日 時：2026 年 5 月 29 日(金)18:00～19:45

形 式：Web 会議形式

出席者：竹内宗之（理事長）、内田寛治、大塚将秀、小倉崇以、倉橋清泰、清水敬樹、
平井豊博、石井宣大、佐藤暢一、玉木 彰、松本幸枝（各理事）
竹田晋浩、藤野裕士（監事）

欠席者：志馬伸朗、吉田健史（理事）

（敬称略）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（竹内理事長）

- ・前回理事会議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 3 件・連絡 3 件）の確認・承認（竹内理事長）

- ・3 件の審議事項と、3 件の連絡事項を確認・承認した。

3. 理事長報告（竹内理事長）

1) 不正アクセス被害にともなう個人情報保護委員会への報告の件

- ・2026 年 3 月、事務局を委託するメディカ出版で生じた不正アクセス被害において、本会会員の個人情報も漏えいした可能性があることが判明した点はすでに理事会で共有し会員にも連絡済であったが、このたび外部専門機関の協力を得て、個人情報保護委員会へ提出する報告書が確定したとの連絡がメディカ出版より届いた。その際、同委員会へは個人情報の取り扱いを含む業務の委託元である本会にも報告の義務があるが、委託先のメディカ出版が委託元である本会の承諾を得て連名で提出することが認められている。メディカ出版から連名での提出案を受け、委託元として承諾をした。
- ・上記の内容について会員への周知が必要との意見があがり、メディカ出版に本会の会員報告の作成と報告を依頼した。
- ・学会としての今後のリスク管理という観点から、現在進めている会員管理システムの導入とあわせてサイバー保険への加入についても検討する必要があると佐藤事務局担当理事より意見があがり、見積取得後、理事会で議論する。

2) 日本版敗血症診療ガイドライン 2028 に関するパブリックコメント周知の件

- ・日本集中治療医学会の志馬伸朗理事長、日本救急医学会の溝端康光代表理事ならびに

当該委員会委員長からの連名で、標記ガイドラインのパブリックコメント周知のご依頼があり、ホームページ・会員メールなどで周知に協力した。

3) 印税収入の件

- ・『ECMO・PCPS バイブル』の印税として 28,656 円（税別）の収入があった。

4) Joyful Board 表彰状授与の件

- ・チーム医療推進委員会より、開設以降、Joyful Board で優れた回答を投稿した会員に表彰状を授与する提案を第 48 回学術集会平井豊博会長に行い快諾を得たとの報告があった。表彰状は理事長名で作成し、今後毎年行うこととした。
- ・将来的には賞選考規定を設け、副賞などの授与について理事会で審議する。

5) 日本移植関連学会協議会への出席の件

- ・2026 年 7 月 11 日(土)14:00～16:00 に Web 会議形式で開催される日本移植関連学会協議会に出席する予定である。

6) 雪国フォーラム周知の件

- ・例年後援して周知協力をしている雪国フォーラムについて、本年度は 2026 年 10 月福島開催となり、ホームページで周知した。

7) EIT オンライン講習会開催の件

- ・2025 年 11 月、2026 年 1 月にそれぞれ 10 日間オンデマンド配信を実施した EIT オンライン講習会について、2026 年 6 月中にも 10 日間オンデマンド配信を実施する提案があがり、理事会の同意が得られた。

4. 事務局からの報告（佐藤理事）

- ・2026 年 5 月時点の会員数が以下のとおり報告された。
 - 一般会員：1,754 名（Dr 1,112、Ns 223、CE 294、PT 102、他 23）
 - 賛助会員：13 社／年間購読契約：5 件
- ・会員動向は、年度末の資格喪失退会が 100 名となり、全職種で減少傾向がみられた。
- ・一般会員の会費納入状況は、2023 年度が 94.7%、2024 年度が 89.9%、2025 年度が 81.2%となった。
- ・会員相互掲示板 Joyful Board は直近の 1 カ月で 146 のアクセスがあり、2 件の新規投稿、5 件の返信投稿があった。累計では新規投稿 63 件、返信投稿 351 件となった。

5. 学術集会報告、準備状況

1) 第 48 回学術集会（会長：平井理事）

2026 年 7 月 4 日(土)・5 日(日)国立京都国際会館（京都）

「呼吸療法の未来に向けたきずなの構築」

オンデマンド配信：2026 年 7 月 17 日～8 月 20 日

運営事務局：コンベンションプラス社

- ・予算については、収入 71,958,000 円、支出 67,625,175、収支 4,332,825 円の黒字予算となることが報告された。

2) 第 49 回学術集会（会長：竹内理事長）

2027 年 7 月 3 日(土)・4 日(日)ウイंकあいち（名古屋）

運営事務局：コンベンションプラス社

- ・テーマが決定し、第 48 回学術集会でチラシを配布できるよう運営事務局に手配中であることが報告された。

3) 第 50 回学術集会（会長：内田理事）

2028 年 6 月 24 日(土)・25 日(日)パシフィコ横浜会議センター（横浜）

運営事務局：サンプラネット社

- ・日時、会場、運営事務局が決定済であることが報告された。

6. 事業報告

1) セミナー事業（大塚理事）

- ・第 55 回日本呼吸療法医学会セミナー（7 月 1 日～31 日）の受講者数は約 700 名見込。受講料は 7,000 円（税別）。
- ・2026 年度のハンズオンセミナーについては、8 月 23 日(日)午前に多摩総合医療センターにて、10 月 31 日(土)午前に徳島大学病院での開催が決定した。概要は委員会活動報告で行う。

2) 呼吸療法専門医研修施設 2026 年度〈更新・新規〉申請（佐藤理事）

- ・現時点で更新 11 施設（対象 18）、新規 6 施設からの申請を受理している。

7. 委員会名簿（佐藤理事）

- ・次期委員会人事を含む名簿を確認した。

8. その他、今後の理事会予定（竹内理事長）

1) 第 49 期（2026 年度）日程

- ・第 1 回理事会（Web 会議形式） 9 月初旬
- ・第 2 回理事会（Web 会議形式） 11 月末
- ・第 3 回理事会（Web 会議形式） 2 月末
- ・第 4 回理事会（Web 会議形式） 5 月末
- ・定時社員総会（Web 会議形式） 6 月中旬
- ・上記の日程を確認した。次期役員内定者で日程調整を行うこととした。

Ⅱ．審議事項

第 1 号議案 第 48 期事業報告および決算承認の件 （佐藤理事）

（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

<収 入>

- ・会費収入は前年度と比較して若干増加しておりセミナー収入も増加傾向にある。とくに多職種向けセミナーは受講者が 1,000 名を超え安定した収入を確保できた。また企業からの文献使用料・許諾料収入があり前年度より 52.8 万円の増となった。
- ・当期収入は 120,099,949 円、学術集会関連を除くと 32,795,948 円となった。

<支 出>

- ・機関誌等発行費はその巻号のページ数により経費も左右され、セミナーの経費も受講者が増えれば経費も上がってくるが、全体としてはコントロールされている。
- ・委員会費は、広報のタグライン制作費 459,000 円、ホームページ制作費 3,450,000 円、ARDS 2026 の 3 学会経費 963,630 円が第 48 期で大きな拠出となった。
- ・学術集会費のうち、第 47 回学術集会分配金 5,000,000 円は次年度に計上する。
- ・当期支出合計は 94,765,389 円、学術集会関連を除くと 24,125,117 円となった。
- ・次年度繰越利益は 171,626,475 円となった。

<収支合計>

- ・学術集会を除く単年度収支は 8,670,831 円の黒字となった。収支としては健全な状況にあり、安定した年度であった。

<監査報告>

- ・竹田監事・藤野監事から、監査を行い適切に運用されている旨の報告があった。
- ・以上、第 48 期決算について、承認された。

第 2 号議案 第 49 期事業計画および収支予算の件 （佐藤理事）

（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

<収 入>

- ・会費収入は 2026 年 5 月時点の会員数にもとづき算出した。
- ・事業収入は、医学会セミナー700 名、医師向けセミナー350 名（2 回分）として算出した。前年ほどの受講者数には及ばない見込みである。
- ・広告収入として機関誌 1 号のユーザーレポート掲載料は 4 社の掲載が内定し例年より多い見込みである。『ECMO・PCPS バイブル』『小児在宅第 2 版』の印税見込額も計上した。
- ・学術集会は会長試算による見込額を計上している。
- ・以上、当期収入予算は 100,400,000 円、学術集会を除くと 28,442,000 円となった。

<支 出>

- ・基本的な支出項目・支出額については例年と変わらないが、今期の特徴として会員管理システムの構築費用 590 万円を計上していることが報告された。会員情報管理の効率化やセキュリティ向上のほか、会員相互の掲示板機能強化も図られており、将来的な基盤強化の意味合いが強い投資となっている。
- ・以上、当期支出予算は 96,160,000 円、学術集会を除くと 28,534,825 円となった。

<収支合計>

- ・単年度の収支は約 424 万円の黒字予算となることが報告された。
- ・以上、第 49 期（2026 年度）予算について、承認された。

第 3 号議案 第 51 回（2029 年）学術集会会長候補の件（竹内理事長）

- ・標記学術集会会長に代議員 3 名から佐藤暢一理事（東京都済生会中央病院麻酔科・集中治療科部長）の推薦があり、承認された。

第 4 号議案 名誉会員推戴の件（佐藤理事）

- ・名誉会員の推戴候補には、定款施行細則に則って以下の 3 名が挙がり、承認された。
藤野 裕士 先生 ・ 西田 修 先生 ・ 近藤 康博 先生

第 5 号議案 次期職種指定理事推薦の件（竹内理事長）

- ・定款施行細則第 15 条において、職種指定理事は選挙理事選挙の年に代議員のなかから新理事長が選任することになっているが、現 理事会が新理事長に対して次期職種指定理事を推薦することで、その選任を支援するかたちを取っている。

	医 師	看護師	臨床工学技士	理学療法士
現 職種指定理事	佐藤 暢一 (1 期)	松本 幸枝 (1 期)	石井 宣大 (2 期)	玉木 彰 (2 期)

- ・佐藤理事（医師）は会長選出による次期職責指定理事への就任が見込まれており、志馬伸朗代議員（医師）が推薦された。また、松本理事（看護師）から一身上の都合により継続辞退の申し出があり、委員会活動実績などもある近畿大学看護学部の櫻本秀明代議員（看護師）が推薦された。
- ・以上より、現 理事会からは石井宣大理事、櫻本秀明代議員、志馬伸朗理事、玉木 彰理事を次期職種指定理事候補として推薦することが承認された。なお、最終的な指名は次期理事長による。

第 6 号議案 広報委員会からの上申事項の件（吉田理事）

- ・ホームページリニューアル後に、広報委員会で作成された「会員特典ページ」案のほか、「会員向けのアンケート調査」「オリジナルグッズ展開」「Joyful Board 紹介コラムのオープン掲載」について広報委員会から以下 4 件の上申があった。

1) 会員特典ページ案

<https://chatgpt.com/canvas/shared/69d5be3fc2148191a804ddb0e9d4abc4>

- ・広報委員から上記ページ案が提案され、公開可能な水準であり理事会に上申された。審議の結果、承認された。

2) 会員向けアンケート調査案

- ・目的：会員特典ページに実際の会員の生の声を掲載するためのデータ収集
ホームページの改善点の洗い出し、など
- ・調査項目：

あなたの職種は？ 年齢 現在勤めている領域 当会に入会した理由は？ 呼吸療法にかんする業務は主にどのようなことをしていますか？ 当会おすすめなポイント・入会してよかった点を教えてください ホームページでよく閲覧するものを教えてください 学会に何かご要望はありますか？ 本アンケートの結果をホームページ等に掲載してもよろしいでしょうか？

- ・ホームページに載せる「会員の声」を集めることのほか、広報全般への要望などを広く集めるための調査として、審議の結果、承認された。

3) オリジナルグッズ展開

- ・ブランディングの一環として、クリアファイル、ピンバッジ、ステッカーといったオリジナルグッズの展開を企画提案があった。
- ・理事会で審議するための具体的な商品設計と見積もり案を提示するよう委員会に打診することとした。
- ・グッズ展開の前に、専門医制度の認定と紐づくピンバッジの制作は優先事項との提案があった。また、看護師などの女性会員に訴求するデザイン（かわいらしさ・親しみやすさ）も大きな意義がある。「持ちたい」と思えるデザインにすることでブランディング効果も高まる。さらに海外の学会ではグッズ販売売上の一部を寄付する取り組みも行われており、その点も検討する。
- ・テストケースとして学術集会に間に合うのであれば学術集会予算での制作・展開・販売も十分検討に値する。急ぎ見積もりを取ることにした。

4) Joyful Board 紹介コラム「Joyful Board から(仮)」のオープン掲載

- ・会員専用ページに設置している会員相互掲示板 Joyful Board について、投稿された優れた回答をチーム医療推進委員会がコラム記事として紹介し、2026 年 11 月号の「呼吸療法」から毎号掲載していくことが編集委員会で承認された。
- ・チーム医療推進委員会からは、本コラムは非会員に学会の魅力を伝えられるものにも

なり、会員専用ページだけでなくホームページでこの記事だけ公開できないかとの提案があり、管轄する広報委員会でおおむね同意が得られた。

- ・本コラム記事のオープン掲載について、承認された。